

# TO 講習会 参加報告書

令和 4 年 7 月 30 日

報告者 永易 貴史

この度参加しました、TO 講習会について報告します。

なお、この報告書が、愛媛県バスケットボール協会ホームページ等に掲載されることを了承します。

<b>講習会名 (大会名)</b>	2022 年度全国トップリーグ担当 TO 実技研修会① (W リーグ サマーキャンプ)
<b>参加者 (報告者)</b>	(報告者) 永易貴史 (所属カテゴリー) U15
<b>期 日</b>	令和 4 年 7 月 15 日から令和 4 年 7 月 16 日
<b>会 場</b>	群馬県 高崎アリーナ
<b>講 師</b>	和嶋陽一氏 榎平勇輝氏 中澤広一郎氏 古見高広氏 他
<b>参加者</b>	各都道府県トップリーグ TO 登録者
<b>報告</b>	<p>7 月 15 日 (金)</p> <p>【担当ゲーム】 Bコート第 2 試合 デンソー vs ENEOS</p> <p>【担当業務】 タイマー</p> <p>【報 告】 新型コロナウイルス感染症に関わる対応として、試合が中止された。</p> <p>サブコートには、他コートと同じ senoh 製の TO 機器が設置されており、空いた時間を利用して操作練習を行った。ファールタワーが太く、スコアラーからコート上が見えにくいというような情報交換を他クルーと行うことができた。</p> <p>7 月 16 日 (土)</p> <p>【担当ゲーム】 Cコート第 1 試合 学生選抜 vs 新潟</p> <p>【担当業務】 ショット</p> <p>【報 告】 ゲーム後ミーティングにおいて IR (榎平氏) の講評</p> <p>TO クルー間でのコミュニケーションの声がよく聞こえていたので良かった。しかし、声が無い (出ていない) 時の対応が必要である。声が出ていないということは、見えていないのか気付いていないということであり、お互いにフォローの声掛けが必要な場面である。タイマーは止めたらず必ず手を挙げる。レフェリーの手に合わせて行う。ルーズボールの投げ入れ時にショットクロックをリセットするかどうかは、レフェリーの笛が鳴らないのを待ってリセットするくらいが良い。先にラインクロスでアウトオブバウンズになるケースもあるため、コントロールされたと思ってジャストでリセットする必要は無い。交代やタイムアウト請求について、TO クルーで情報共有を行うこと。4Q の L2M でのレフリータイム時に交代請求があった場合の可否は、レフェリーで判断することになる。</p>

	<p>【担当ゲーム】 Aコート第3試合 シャンソン vs 学生選抜</p> <p>【担当業務】 タイマー</p> <p>【報告】 ゲーム後ミーティングにおいてIR（古見氏）の講評</p> <p>タイマー系のコミュニケーションがはっきりとした声で行われていて良かった。タイマーとショットクロックが同時に開始する場面では、2人の声が必ず揃うようにする。声を出す、手を挙げるタイミングがドンピシャで行えると良い。タイマーの手を下ろす時には、急いで下ろすのではなく、てのひらを握ってから下ろすようにする事で、慌てずに落ち着いた機器操作に繋がる。TOマニュアルにも図で解説されているので参考にする。ゲームの後半は攻める方向が変わるため、タイムアウトや交代の請求に即時に対応するため、逆ベンチを見る癖をつける。また、TOクルー間で情報共有を行う。特にスコアラーは、すぐに得点を書こうとしてスコアシートへ目を落とさず、両ベンチを見て請求の有無や、請求時にプレーがライブ状態であるかを判断しなければならないため、アシスタントスコアラーとの連携が非常に重要である。ショットクロックのカウントダウンは5秒前から行う。タイマーはEOQの30秒、24秒、14秒をジャストでコールしてショットクロックと連携を行う。ショットクロックがリングに当たったかどうかを判断できず「見えない」という声掛けに対して、タイマーが「リセット」とフォロー出来ていたことがとても良かった。投げ入れに対する24秒リセットの場面において、一つ前のプレーがどちらのボールであるのかを考えて、継続なのかリセットなのか間違えないように判断しなければならない。タイマーのストップが遅れたと判断した場合、タイマー系の2人で判断し、修正が必要であればレフェリーへ簡潔に伝える。気づいてもらえない時はブザーで知らせる。</p>
<p>所感</p>	<p>これまでZoomでのオンライン研修はあったが、全国規模で行われる初めてのTO実技研修会であった。これまで都道府県ごとに実施してきた内容と、全国統一のTOマニュアルとの相違を実感することができた。県内TO委員会が発足し、今後の県内TO研修を実施運営を進めていくにあたり、他県のTO研修会の実施方法などを意見交換できる貴重な機会でもあった。異なる都道府県の方と実際にTOクルーを組んでゲームを行う事で、他県とのレベルの違いを感じるとともに、TOマニュアルの理解不足を実感した。また、自身のTO経験回数の乏しさも実感した。</p> <p>今回の研修を終えて、2022-23シーズン開幕へ向けて、県内において全国統一のTOマニュアルに基づいた実技研修の回数を増やしていきたい。特にスコアラー系、タイマー系それぞれのコミュニケーションについて、IRから指摘して頂いたことを、県内の研修会においても情報共有し、いつ誰とどのカテゴリーの試合においても共通の認識でTOが行えるようにするため、県内でのTO研修会への参加を啓発し活性化させて実施していきたい。また、県トップリーグTO担当として、ルール変更やマニュアル変更などの最新の情報について、県内へ周知できるように努めていきたい。</p>

※ 原文のまま、ホームページ等に掲載されます。

※ 用紙が足りない場合は、各自追加してください。